



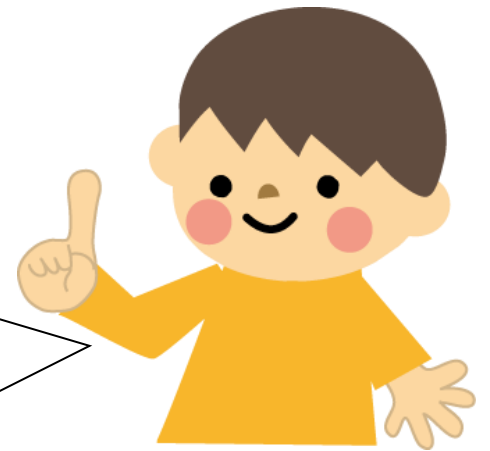
どうやってつかうのかな？
なぜこんなかたちをしているの
かな？



どこを^も持って^{つか}使うのかな



くるま
車がついてるから、その^{ぶぶん}部分を^{した}下にして
^{つか}使ったんだらうね。そうしたら、どこを^も持っ
て^{つか}使うかすぐわかるね。

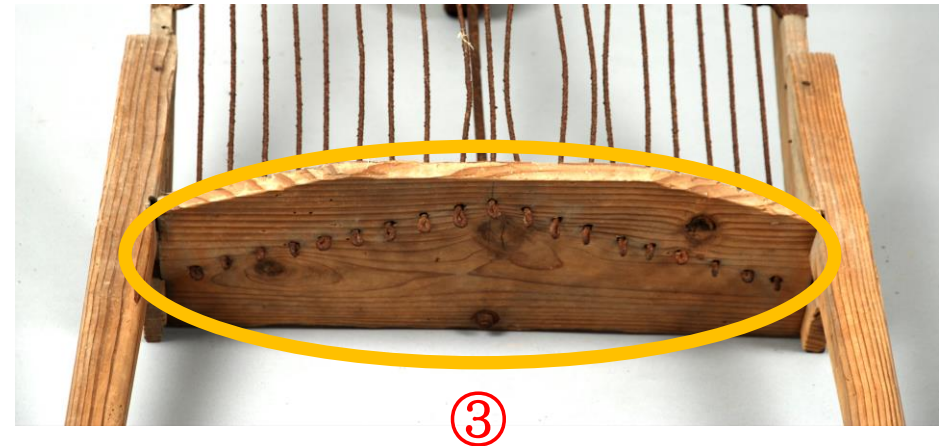


む か み 向きを変えてくわしく見てみよう



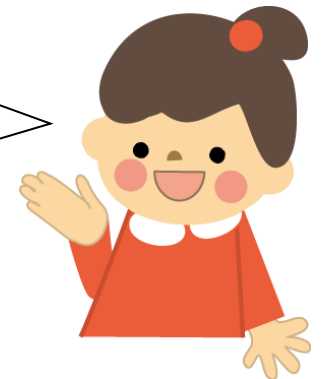
① しゃりん ひと 車輪は一つしかないのに、他の ほか
ぶぶん くら 部分に比べてとても小さいよ。

② て も 手で持つところが なな 斜めになっているよ。



③ ほそ ぼう 細い棒が じ かたち への字の形には
めてあるね。

3つのかたちの
ヒミツがあるよ！



つか 使っているところだよ



ふたり さぎょう
二人で作業をし
ているね。おじさ
んが^{つち}土を^か掛けてい
るよ。

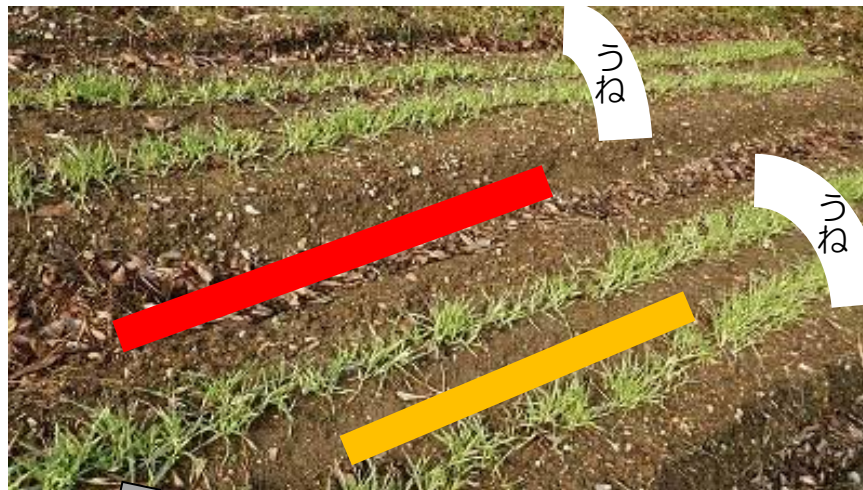


な ま え つ ち い き い 名前は「土入れ器」と言うよ

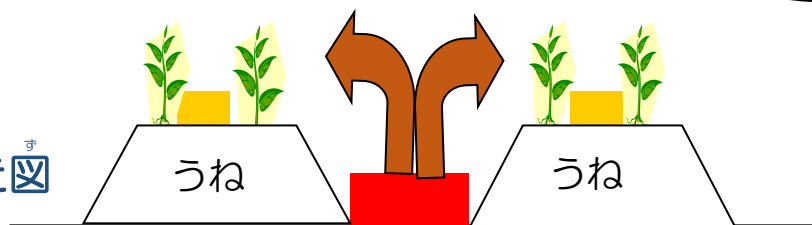
ムギ^{づく}作りの^{とき}時に^{つか}使うんだって。ムギ^{つく}を作るとき
は、イネとは^{ちが}ちょっと違^{なえ}って、^{じょうぶ}苗^{そだ}が丈夫に^{そだ}育つよ
うにする「ムギ^{ほか}ふみ」の^{ほか}他に「^{つち い}土入れ」という^{さぎょう}作業
があるんだって。この^{どうぐ}道具は、^{つち い}土入れの^{とき}時に^{つか}使わ
^{どうぐ}れる道具だよ。



ず 図にすると・・・



よこ
横から見た図



↑ あかいろ ぶぶん つち
赤色の部分の土をうねにかける

なえ なえ あいだ きいろ ぶぶん
苗と苗の間（黄色の部分）を
つち い き お すす
土入れ器を押しながら進みます。
とき
その時にうねとうねの間の土（赤
ぶぶん
の部分）をスコップですくって
つち い き うえ
土入れ器の上からかけるよ。



つち い
土入れをすることで、ムギの苗が倒れにくくなります。うねとうねの間の部分（赤色）
つち みず
の土もけずられて水がたまりにくくなります。

3つのかたちのヒミツ①

① ^{しゃりん}車輪は一つしかないのに、^{ほか}他の部分に比べてとても^{ちい}小さい。

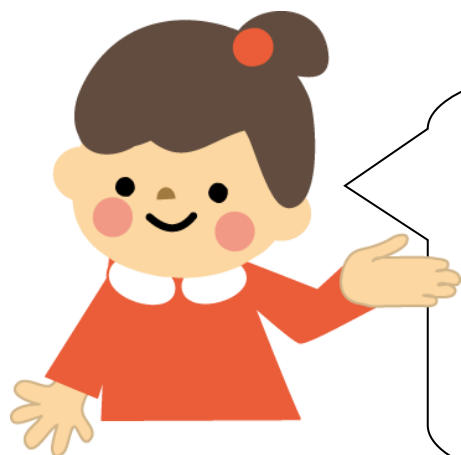


^{なえ}苗と^{なえ}苗の^{あいだ}間を^{すす}進むので、^{しゃりん}車輪は一つでいいし、^{ちい}小さくないと^{なえ}苗を^{たお}倒してしまうよ。



3つのかたちのヒミツ②

②^て手で^も持つところが^{なな}斜めになっている。



もし、^も持つところがまっすぐだったら、^{つか}使う
^{とき}時、^{こし}腰を^ま曲げなくちゃいけないよ。^{なな}斜めだから^た立
^{さぎょう}って作業ができるよ。

3つのかたちのヒミツ③

③ ^{ほそ} ^{ぼう} 細い棒が ^じ ^{かたち} へ の 字 の 形 にはめてあるね。



^{うえ} 上からかけた土が ^{つち} ^{ひろ} 広がって、^{さゆう} ^{なえ} 左右の苗に
かかるようにするための ^{くふう} 工夫だよ。



「かたちのヒミツ」は楽しめましたか？

今まで見たこのない道具の使い方を考えるのはむずかしかったでしょう。クイズを解きながら、それぞれの道具のかたちにはちゃんと理由があることがわかりましたか？

道具にいろいろな工夫がされているのは昔の道具だけではありません。今みなさんが使っている道具にもたくさんの工夫がつまっています。「これは何でこんなかたちをしているのかな？」と身の回りの道具をじっくり観察してみるのもいいかもしれません。

